村上華岳　むらかみかがく　日本画家。明治二十一年七月二日大阪生れ、昭和十四年十一月十一日没（一八八八―一九三九）。旧姓武田、本名震一。京都市立美術工芸学校を経て、明治四十四年京都市立絵画専門学校卒。竹内栖鳳に師事。大正七年土田麦僊、榊原紫峰等と国画創作協会を設立。晩年芦屋に隠棲。

著書『画論』（昭和十六年一月十五日弘文堂書房）等。